

地独) 府中市病院機構 第3期中期目標期間の業務実績(見込)に対する評価について

【期 間】 令和2年度から令和5年度まで(4年間)

【目 的】 中期目標期間終了前に業務実績の見込について評価を行うことで、今後の中期目標及び年度計画期間(令和6年度から令和9年度まで)の取組に当該評価結果を適切に反映させる。

【総合評定】

- 令和3年度に病院機構から示された、新たな市民病院の将来像と地域医療のあり方に関する検証内容は、市としても概ね了とする。しかし、府中市市民病院の入院患者数減少の傾向は、新型コロナウイルス感染症に起因する受診行動の変化等により、減少幅が拡大している。今後も、両病院の機能の検証や効率的な医療提供体制のあり方を検討し続けることが必要。
- 医師確保の取組により、常勤医師数は増加。外科の手術が再開されるなど、医療機能が拡充され、平成29年度をピークに一旦落ち込んだ総医業収益は増加が見られる点を評価。
- しかし、経常収支比率の目標達成は令和3年度のみであり、令和5年度には市からの追加支援がなければ安定した病院経営に必要な資金確保が危ぶまれる状況となったことは、早急に対策を講じるべき課題。自立した病院経営の確立に向けた収支改善の取組が必要。
- 新型コロナウイルス感染症の流行に対し、外来診療や入院治療の実施、ワクチン接種などの病院職員の献身的な対応に感謝する。

【事項ごとの主な評価】

【担うべき医療・役割に応じた診療機能の確保】…担うべき医療には概ね取り組んでいる。地域のニーズに応じた病院の機能などについて今後も検証を続ける必要がある。

【実績】

- ・市が求めた医療機能には概ね取り組んでいる(救急患者受入、巡回診療、婦人科・小児科診療、サ高住の運営、健診実施など)

【課題】

- ・地域の医療ニーズの変容に注視し、両病院の機能や効率的な医療提供体制のあり方について検討を続ける必要がある。
- ・災害対策訓練が未実施(北市民)、備蓄など日頃からの備えが不十分(両病院)。

【業務運営の改善・効率化】…病院機構の取組の積極的なPR、採用した人材を活用した経営改善、人事評価制度導入の取組を求める。

【実績】

- ・他の医療機関での勤務実績豊富な事務長・医事課長の採用。
- 【課題】
- ・接遇向上の取組など、病院機構の良い取組が市民にしっかりと伝わり、選ばれる病院につながるような情報発信の工夫。
- ・採用した職員の知識・経験を活用した経営改善の取組。
- ・職員の意欲を引き出せる人事制度の構築。

【医師確保】…医師確保に成果が見られる。継続した取組を求める。

【実績】

- ・常勤医師数が増加し、休止していた外科手術が再開(府中市民)。
- ・近隣医療圏の拠点病院から診療支援を受け眼科診療を開始(北市民)。

【課題】

- ・医師の増加が継続したものとなるよう、引き続き医師確保の取組を求める。

【財務内容の改善】…強固な経営基盤構築に向けた収支改善の取組が必要。

【実績】

- ・医師確保の成果による医療機能の拡充により、総医業収益は増加が見られる。

【課題】

- ・経常収支比率の目標達成は令和3年度のみ。令和5年度には市からの追加支援が必要となる状況。安定した病院経営に必要な経営基盤構築の取組が必要。
- ⇒収支改善の具体的な取組を定め、達成状況を把握できる指標を用いた進捗の確認、必要に応じた取組の改善など、細かな取組が必要。